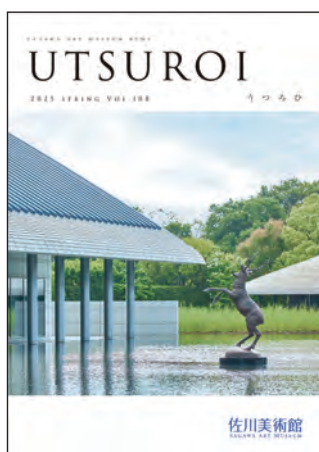
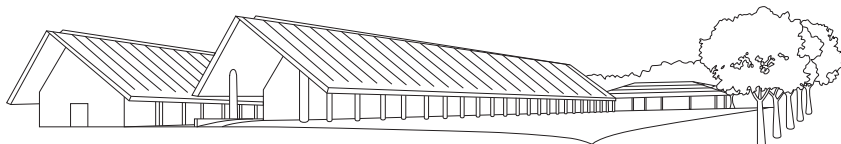


うつろひ VOL.108

リリースのお知らせ



佐川美術館友の会会員の方を対象に
年4回季刊誌を発行しており、
展覧会のみどころや耳より情報をお知らせしています。
4/1 発行の108号では、
『戦後日本画壇の風雲児 日本画家 横山操展』を特集。
耳寄り情報満載のその他コーナーもお見逃しなく！

目次

企画展 戦後日本画壇の風雲児 日本画家 横山操展	1-3
コレクション展 平山郁夫 旅の誘い	4
コレクション展 佐藤忠良 はじめての彫刻鑑賞	5
コレクション展 樂直入 伝統と挑戦	PICK UP 6
教えてセンパイ！	PICK UP 7
こども絵画コンクール優秀作品展レポート/ 【告知】万博ワークショップ	8
深#建築LABO	9
【告知】トワイライト・コンサート/次回展	10
うつろひ読者の声 / アンケート	裏表紙

次のページで
ちょっとだけ紹介！

年会費 3,000 円
でオトク！

友の会会員
募集中



詳しくは
コチラ

友の会会員の方には、季刊誌を
ご自宅までお届けします。
その他にも特典がいろいろ！
詳しくは美術館公式 HP 内、
友の会ページをご覧ください。

Join the Friends
of the Museum

伝統を受け継ぎ、新しきに挑む

《黒樂茶碗 杏花村》

2008年

黒樂茶碗は、初代長次郎から継承されてきた伝統的なスタイルです。本作は杜牧の漢詩「清明」より、雨が降る中、牛飼いの少年に酒屋の場所を尋ねたところ、遙か向こうの杏の花が咲く村を指差すというストーリーから銘がとられました。茶碗の形は杏の花のようにふくらと丸みを帯び、手で包み込むようにして作陶した指の跡が確認できます。土は樂家の先人が集めたもので、直入が使用しているのは十二代弘入が採取し、100年ほど寝かせています。



Pick up

茶碗が高温のうちに窯から引き出すことで火鉢の跡がつく。

《フランスRAKU茶碗》

2008年

フランスRAKU茶碗は、2007年から2010年の4年間にわたって陶芸家のアンドッシ・ブローデルがアトリエを構えるフランス・ルビニヤック村にて制作されました。自然豊かな小さな村で作陶に没頭できた直入は回顧しています。本作は、村から200kmほど離れた磁器で有名なリモージュの白土を使用し、電気窯とガス窯を併用して焼成しています。ルビニヤック産の砂岩釉や栗の灰釉を掛けることでできた、深みのある青色が印象に残る絵画的な釉景が美しい一鉢です。



Pick up

茶碗の尻を木の棒で叩いて作った高台を、直入は「たたき出し高台」と名付けた。

Information

樂 直入
伝統と挑戦

会期：開催中～
9月28日(日)

《井戸型茶碗 佐保川》

2017年

直入が作陶する轆轤挽きの茶碗は、2014年に萩焼・十五代坂倉新兵衛(現・一溪)と制作方法を交換する試みによって生み出されました。手捏ねを基礎とする直入にとってこの体験は新鮮だったようで、2017年には「萬葉乃譜」シリーズと題し、轆轤挽きの茶碗を発表します。「万葉集」から銘がとられた本作には、薬師寺東塔基壇の土が使われ、京都にある久多のアトリエにて焼成されました。土に混じる砂を敢えて取り除かず、作陶したことで、茶碗の肌の質感が新たな風合いを生み出しています。

本展では黒樂茶碗や赤樂茶碗を「伝統」の茶碗、フランスRAKU茶碗や轆轤挽きの茶碗を「挑戦」の茶碗と位置付け展観します。今号ではそれぞれの茶碗の特徴をご紹介します。直入の自由な発想からなる作陶をご覧ください。

Pick up

茶碗表面には轆轤目と呼ばれる轆轤形成特有の筋状の指の跡がある。



教えて センパイ!

前号で作品を貸借する
前後に行う点検の
基本を知った栗田さん。
今号では学んだことを活かして
実際に点検作業に挑戦します!

センパイ!

作品点検の方法 について教えてください!

-実践編-

点検のポイントとは?

点検は作品にとって安全な環境の下で行います。作品の点検時は、現状確認できる傷や付着物などの有無を見落とさないように丹念に確認し、作品の付属物である額や台座、箱なども点検します。特に額装されているものは展示の際に金具に負荷がかかるため、しっかり取り付けられているかの安全性も確認します。

道具の使い方は?

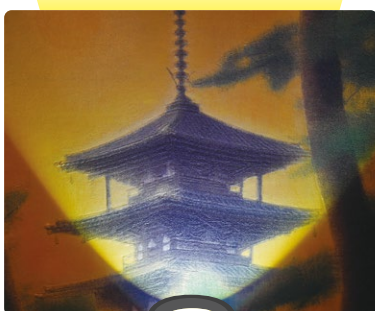
前号で紹介した道具を使う時のポイントを紹介します。作品にライトを当てる際、一方向からではなく様々な方向から当てることで、見え方が変化し、見えにくかった傷などを発見しやすくなります。また、作品によっては指紋の付着を防ぐために白手袋を着けますが、手の感覚が鈍くなりやすいため、いつも以上に慎重に作品を取り扱う必要があります。

見え方がこんなにも変わります

ライト横から



ライト下から



今回のセンパイ
井上さん



新人学芸員
栗田さん

調書の記入方法は?

調書は展示や返却の際など作品に変化が生じていないか確認するための大事な書類であるため、作品の状態をしっかりと記入することが重要です。また、取り扱う際に注意すべき点があれば、調書に注記することで梱包・開梱や展示の時に的確な指示を出すことができます。



まとめ・感想

作品を借りる側と貸す側双方の信用のもと点検することは、作品にとって大変重要で責任が伴う作業であることを再認識しました。また実際に作品点検を行ってみると、想像以上に集中力と体力を消耗する作業でしたが、展示の時よりじっくり作品に向き合うことができ、一つ一つの作品に愛着が湧きました。

記入が終わったら双方の学芸員が確認とサインをします。これで一枚の調書が完成します。

